

# 敬老会 ボランティアの演芸で なごやかに！



▶ 町長から祝品を受け取る町内最高齢者の小川きささん(九十五歳 老人ホーム) 九月十二日に、八十八歳以上の方が五十二名の所へ、町長と社会福祉協議会長が、お祝いの品を持って訪問しました。



九月十五日、今年七十歳以上を迎えた一二五四人、結婚五十周年を迎えた二一組のご夫婦を招待して敬老会が開かれました。

安全協会光支部のかわいいぬいぐるみによる交通安全の話で開幕。

「今日があるのは、明治、大正、昭和と激動の時代を生きてこられたおじいさん、おばあさんがあったればこそ」と斉藤町長のあいさつ。続いて伊藤社会福祉協議会長のあいさつがあり、七十歳、八十

歳、八十歳以上、結婚五十周年のそれぞれの代表に記念品が贈られました。

恒例の演芸では、光町ボランティア連絡協議会に加盟している光町カラオケ連合会、光扇会の自慢のノドとおどり、橋場若連のおはやしが披露されてなごやかに進められました。

おじいさん、おばあさんの知った顔ばかり、「笑顔で心のふれあう福祉のまち」をめざす光町ならではの敬老会となりました。



おじやまします

日吉保育園

九月十日、日吉保育園のお誕生会におじやましました。 九月生まれのお友達は、先生から金色の冠やスケッチブックなどをプレゼントされ、とてもうれしそうでした。